

TAMAI Ken
たまい けん
教授 玉井 健 1954 生

I 学位 博士 (学術)

II 専門分野 英語教育学

III 略歴

1977 年 3 月 香川大学経済学部卒業
1978 年 4 月 神戸市立兵庫商業高等学校教諭
1981 年 4 月 神戸市立葺合高等学校教諭
1990 年 6 月 The School for International Training 大学院 英語教育学修士課程入学
1993 年 2 月 同上 修了 (Master of Arts in Teaching)
1993 年 4 月 四国学院大学文学部助教授
1995 年 4 月 神戸松蔭女子学院短期大学英文学科助教授
1999 年 4 月 神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程入学
2002 年 3 月 同上 修了 (博士 (学術))
2002 年 4 月 神戸市外国語大学助教授
2003 年 4 月 同上 教授昇任 現在に至る

IV 研究活動

日本語を母語とする学習者の英語習得阻害要因について多面的に考え、指導法研究へと結びつける。特にリスニング指導法としてのシャドーイングの効果とその応用、スピーキングにおいては自由な自己表現を阻害する要因としての文化的価値観の影響について、また、アクション・リサーチを通しての授業分析法、ティーチャー・トレーニングなどを研究・教育のテーマとしている。

1. 著書

『はじめてのシャドーイング』共著 (鳥飼玖美子他) 学習研究社 2003
『決定版英語シャドーイング』共著 (門田修平) コスモピア 2004
『決定版英語シャドーイング- 映画スター編』単著, コスモピア 2004
『リスニング指導法としてのシャドーイングの効果に関する研究』単著 風間書房 2005

2. 論文

「フォローアップの聴解力向上に及ぼす効果及びフォローアップ能力と聴解力の関係」『STEP BULLETIN』日本英語検定協会研究助成論文集 第4巻, 1992
「談話的視点によるパラグラフライティングの効果的な指導- 「時制の軸」を定める試み」『紀要』第22号中部地区英語教育学会 1993
「学習者中心のディベート指導- Teaching Debate with the Learner- centered Perspective」『英語教育研究』SELT Vol.16 日本英語教育学会関西支部 1993
“Integration of Four Skills Using Debate - Theory and Approach ” *Annual Review of English Language Education in Japan*, ARELE Vol.4 全国英語教育学会 1993
「中学校英語教育における4領域のバランスとリスニング指導の実態」『英語教育研究』SELT Vol.16 日本英語教育学会関西支部 1993
“The Difference in Confucianist Beliefs between Modern Japanese and Koreans” *Kobe Shoin Literary Review* No. 30 1997
「シャドーイングの効果と聴解プロセスにおける位置づけ」『時事英語学研究』第36号日本時事英語学会 1997
「教室におけるシャドーイング技術の評価」TALKS 神戸松蔭女子学院大学言語科学研究所 No.1. 1998
「シャドーイングによる発話の誤りに一定の傾向はあるのか」『シャドーイングの応用研究』日本時事英語学会関西支部 同時通訳論研究分科会研究報告. 1998 年
“Confucianism as Cultural Constraint” TALKS 神戸松蔭女子学院大学言語科学研究所 No.2 1999
「英語教育における文法指導とコミュニケーション指導- 乖離と相補」TALKS 神戸松蔭女子学院大学言語科学研究所 No.3 2000
「通訳作業抑制要因としての作動記憶」平成 10-11 年度科学研究費補助金基盤研究課題番号: 10610518 「同時通訳における情報フローの認知言語学的検証」研究代表者: 宮畑一範 2000
「コミュニケーション能力における文化的制約要因- 儒教的価値観調査の意味と質問紙の作成」『関西英語教育学会紀要』Vol.24, 6月, 2001, 関西英語教育学会 2001
“Strategic Effect of Shadowing on Listening Ability” The Proceedings of the Fourth Conference on Foreign Language Education and Technology 2001

- 「リスニング指導法としてのシャドーイングの効果に関する研究」神戸大学大学院総合人間科学研究科博士学位論文 2001
- 「同時通訳の認知過程を探る- シャドーイングの指導効果と音韻ループとの関わり」『同時通訳における対訳遅延の認知言語学的研究』平成12-13年度科学研究費補助金(基礎研究(C)(2))研究成果報告書 2002
- “Confucianism as Cultural Constraint: a Comparison of Confucian Values of Japanese and Korean University Students” *Japanese Education in Transition, International Education Journal*, No.5 2002
- 「リスニング向上におけるシャドーイングの効果について」『通訳研究』No.2 日本通訳学会 2002
- 「リスニングとシャドーイングの接点に見る新たな指導の視点」『関西英語教育学会紀要』Vol.26 関西英語教育学会 2003

3. その他の研究活動

1) 雑誌その他掲載論文

- 「教育における国際化の推進とは」『高校教育展望』1月号特集‘88新教育課程と高校教育の課題 小学館 1988
- 「語用論と英作文指導」『現代英語教育』5月号 研究社 1993
- “Culturally Blind Japanese and Urgent Need for Cross-cultural Education” 兵庫県高等学校英語教育研究会紀要『はくぼく』第23号 1993
- 「プロセス・ライティング- 学習者中心の英作文指導法-」『現代英語教育』8月号 研究社 1994
- 「外国語教育におけるヒューマンイズムと学習者としての教師観」『現代英語教育』8月号 研究社 1995
- 「内省による授業研究」『現代英語教育』4月号 研究社 1996
- 「文脈という磯で考える英文法」『現代英語教育』4月号 研究社 1998
- 「実践という金の裏地のついた夕べの雲」『現代英語教育』研究社 1999
- 「英語教育に生かす通訳訓練法- シャドーイング」『時事英語研究』3月号 研究社 1999
- 「文法指導変革への提言- 関西英語教育学会シンポジウムから-」『英語教育』11月号 Vol.53. No.9 大修館 2004

2) 教科書執筆

- 『文部科学省検定教科書 高等学校外国語科「英語I」』共著、第一学習社 2003
- 『文部科学省検定教科書 高等学校外国語科「英語II」』共著、第一学習社 2004
- 『文部科学省検定教科書 高等学校外国語科「リーディング」』共著、第一学習社 2004

3) 部分執筆

- 『講座ティームティーチング』第6巻第2章「パラグラフ・ライティングの指導」日本教育書籍 1989
- 『英語科教育の理論と実践- 理論』第6章第2節「英語教育の学習理論と方法論」現代教育社 1995
- 『日本における英語教育の将来』「教師は内省する実践者になりえるか- アクション・リサーチ」全国英語教育学会編 ベネッセコーポレーション 2001

4) 口頭発表

- “Introduction of Speech and Debate as Output of Ideas in English” 全国英語教育学会京都研究大会 1998
- 「ディベート・ディスカッションをベースにした4領域の統合- コミュニケーションCの指導法と理論」全国英語教育学会福岡研究大会 1992
- “The difference in Confucian beliefs between modern Japanese and Korean” The World Congress of Comparative Education Sydney University(with David Willis) 1996
- 「聴解力伸長におけるシャドーイングの効果とその位置づけ」日本時事英語学会第38回年次大会 1996
- 「シャドーイングにおける発話の誤りに一定の傾向はあるか」日本時事英語学会第40回年次大会 1998
- “The role of reflection in action research” 英語授業研究会 1999
- 「アクション・リサーチの可能性」大学英語教育学会四国支部年次大会シンポジウム(伊勢野薫との共同発表) 2000
- “Education in Japan: what do the differences of Confucianism tell us?” The 11th World Congress of Comparative Education, Korea. 2001
- “Confucianism as cultural constraint: a comparison of Confucian values of Japanese and Korean university students” The 11th World Congress of Comparative Education, Korea. 2001
- “Confucianism as cultural constraint on expressiveness” 全国英語教育学会広島研究大会 2001
- 「教師が変わる授業研究」全国英語教育学会長野研究大会 2004
- “Confucianism as cultural constraint and its effect on communication: A comparison of Confucian values of Japanese and Korean University students” 第1回国際行動学会 2004

5) 講演

- 「プロセス重視の英作文指導」研究者英語センター 1995
- 「リスニングとシャドーイングの接点に見る新たな指導の視点」関西英語教育学会第6回研究大会基調講演 2002
- 「リスニング指導法としてのシャドーイングの効果について」第3回日本通訳学会年次大会基調講演 2002

V 教育活動

1) 授業

英語教育法 英語購読 III a, 英語購読 III b, 教育実習 卒業論文指導 I 卒業論文指導 II 英語授業指導分析

2) 学外

文科省指定研究 Super English Language High School 兵庫県立国際高校運営指導委員
文科省指定研究 Super English Language High School 兵庫県立明石西高校運営指導委員
2004年全国英語教育研究大会（大阪大会）オーラル・コミュニケーション分科会研究指導

VI 学会活動

全国英語教育学会 関西英語教育学会 外国語教育メディア学会 大学英語教育学会

VII その他の活動

特になし